



徳川家康公顕彰四百年記念事業

# 大御所さまの 東海道

— 五十三次旅景色 —

2月3日(火) - 3月29日(日)

Part 1 / 2月3日(火) - 3月1日(日)

Part 2 / 3月3日(火) - 3月29日(日)

主催：静岡市東海道広重美術館

(指定管理者 NPO 法人へキサプロジェクト)

協力：静岡市文化財課、静岡浅間神社、清見寺、  
東海道名主の館小池邸、林香寺



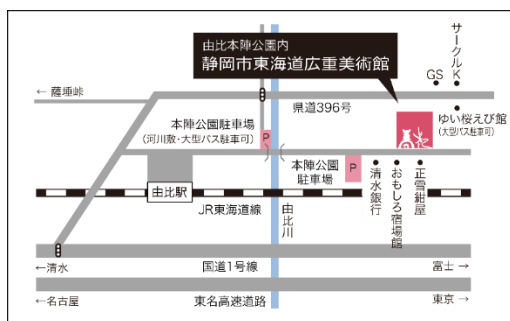
## 企画概要

徳川家康は天下を統一すると東海道の整備に着手し、やがて街道は多くの人々でにぎわいました。家康没後 400 年にあたる本年、歌川広重の東海道シリーズの浮世絵と共に、徳川家ゆかりの貴重な品々、東海道にまつわる文化財をご紹介しますことで、「大御所」家康の偉業と広重が描いた東海道の旅をたどります。

開館時間：午前9時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

入館料：一般 510 円(410 円) / 大学生・高校生 300 円(240 円) / 中学生・小学生 120 円(100 円)  
※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の70才以上の方は無料 ※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料  
※( )は20名以上の団体料金



### 電車をご利用の場合

JR 東海道本線「由比」駅下車後 徒歩 25 分、タクシー 5 分

### お車をご利用の場合

美術館無料駐車場 21 台(由比本陣公園駐車場)

#### ■大阪・名古屋方面から

東名高速【清水 I.C.】から国道 1 号經由約 20 分

#### ■東京・横浜方面から

東名高速【富士 I.C.】から国道 1 号經由約 25 分

静岡市東海道広重美術館 〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

[URL] [www.tokaido-hiroshige.jp](http://www.tokaido-hiroshige.jp) [facebook] [www.facebook.com/tokaido.hiroshige](http://www.facebook.com/tokaido.hiroshige)

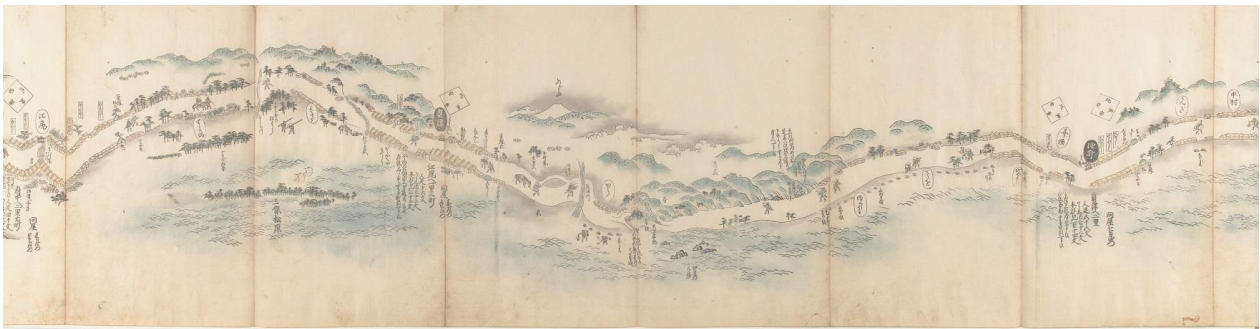
本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

## ■ 展覧会のみどころ

### ①江戸の旅へタイムスリップ

今回ご紹介する浮世絵は、広重の代表作として名高い東海道シリーズです。各宿場の風景と旅人がいきいきと描かれた浮世絵とともに、絵地図や古文書をご覧ください。当時の旅を体験することができます。



上 / Part 2 展示作品 歌川広重『東海道五十三次之内 由井 かつ渡りゆひ川の圖』当館蔵  
下 / 全会期展示作品 遠近道印作、菱川師宣画『東海道分間絵圖 二 (一部)』当館蔵

### ②大御所さまの足あとをたどる

家康が幼少のころ学んだ興津の清見寺、戦国時代に勝利を祈願した静岡浅間神社。さらには鷹狩の際に立ち寄った由比の林香寺といった静岡市内の史跡から、徳川家ゆかりの品々を一挙公開します。



右 / Part 2 展示作品 『軍配団扇』静岡浅間神社蔵

## ■ 出品作品

※展示内容及び出品作品は都合により変更となる場合がございます。

### 浮世絵

- Part 1 歌川広重 『東海道』(通称 隷書東海道) 全 55 点  
Part 2 歌川広重 『東海道五十三次之内』(通称 行書東海道) 全 56 点

### 徳川家および東海道に関する品々

#### Part 1

- 『青磁袴腰香炉』『岩龍水滴』『一角牛人物水滴』『三足蛙水滴』 清見寺蔵 4 点  
『東海道分間繪圖 二』 当館蔵 1 点

#### Part 2

- 『軍配団扇』『勝瓢』『家康公眞筆書状』 静岡浅間神社蔵 3 点  
『東海道分間繪圖 三』 当館蔵 1 点

#### Part 1/Part 2 共通

- 『徳川家康禁制』『山水釣人時絵堤重』『葵紋付漆塗筥笥』 清見寺蔵 5 点  
『葵紋時絵硯箱』『葵紋付茶碗』 林香寺蔵 2 点  
『山椒献上の礼状』『山椒の実選別盆』 東海道名主の館小池邸蔵 1 点  
『寺尾村古水帳』

## ■ 作品紹介：歌川広重作品

### Part 1 『東海道』（通称 隷書東海道）

広重が50代に描いたシリーズ。色のコントラストがはっきりとしており、ボリューム感のある作品です。標題の字体が装飾的な隷書体で書かれているため、通称隷書東海道と呼ばれます。



Part 1 展示作品

歌川広重『東海道 二十 五十三次 府中』当館蔵

家康が將軍職を退いた後に住んだ駿府城。その城下町には宿場とともに昔から遊女街があり、多くの人で賑わいました。

### Part 2 『東海道五十三次之内』（通称 行書東海道）

広重が40代半ばに描いたシリーズ。名所の風景とともに、各宿場の名物や食べ物が多く登場します。標題の字体が行書体で書かれているため、通称行書東海道と呼ばれます。



Part 2 展示作品

歌川広重『東海道五十三次之内 府中 あへ川遠景』当館蔵

黄粉を安倍川で採れる砂金に見立てて、餅に添えた名物「安倍川餅」。家康もたいそう気に入ったといわれます。

## ■ 作品紹介：徳川家および東海道に関する品々

清見寺や静岡浅間神社といった家康つながりの史跡から、徳川家ゆかりの貴重な品々をご紹介します。さらに、かつての東海道の様子を伝える文化財をご紹介します。

右 / Part 2 展示作品

『勝瓢（かちふくべ）』静岡浅間神社蔵

徳川家康が愛用したといわれ、戦勝に導く開運をもたらしたことから「勝瓢」といわれています。



## ■ 関連企画／当館学芸員によるギャラリートーク

日時：Part 1 / 『東海道』（隷書東海道）2月15日（日）13：00～13：30

Part 2 / 『東海道五十三次之内』（行書東海道）3月15日（日）13：00～13：30

参加費：無料（入館料別途）

※当日当館エントランスホールにお集まりください。（申し込み不要・定員制限無）



## 美術館概要

### 静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版画の揃物の名品を中心に約 1400 点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



三代歌川豊国『広重死絵』当館蔵

### 広重について

歌川広重（1797 - 1858） 浮世絵師

15 歳頃に歌川豊田に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ 62 歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や対称性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与えています。

## 広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記 4 点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



### □作品名およびクレジット

- |                |  |
|----------------|--|
| 1. 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art |
| 2. 歌川広重        | 『東海道 二十 五十三次 府中』静岡市東海道広重美術館蔵                   |
| 3. 歌川広重        | 『東海道五十三次之内 府中 あへ川遠景』静岡市東海道広重美術館蔵               |
| 4. 遠近道印作、菱川師宣画 | 『東海道分間繪圖』静岡市東海道広重美術館蔵                          |

### 〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際は、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等はお遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際は、お手数ですが校正紙を E メール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただきます。後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録の DVD、CD などお送りいただければ幸いです。

## 『大御所さまの東海道 - 五十三次旅景色 - 』

### 広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1.  展覧会ポスターイメージ
2.  歌川広重『東海道 二十 五十三次 府中』
3.  歌川広重『東海道五十三次之内 府中 あへ川遠景』
4.  遠近道印作、菱川師宣画『東海道分間繪圖』

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00～16:00

掲載予定日（コーナー名）： 月 日

#### 〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただきますため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp